

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム (START)

プロジェクト推進型

SBIRフェーズ1支援

SBIRフェーズ1支援は、各省庁等から社会ニーズ・政策課題をもとに提示された研究開発テーマに対して、大学等の研究者による独創的アイデアにより研究者自らが概念実証 (POC: Proof of concept) や実現可能性調査 (FS: Feasibility study) を実施し、大学等発スタートアップの起業や、大学等発スタートアップを含む既存中小企業 (設立15年以内) への技術移転を行うことにより、新技術の事業化を目指すプログラムです。

支援の概要 (2024年度)

支援の目的	大学等発スタートアップの起業や大学等発スタートアップを含む既存中小企業 (設立15年以内) への技術移転に向けた研究開発
支援対象	以下のいずれかに該当する機関に所属する研究者 国公立大学、国公立高等専門学校、大学共同利用機関法人、独立行政法人 (国立研究開発法人を含む)、地方独立行政法人、公益財団法人、公益社団法人、一般財団法人※、一般社団法人※ (※別途、条件があります)
採択予定件数	9件程度
対象分野	各省庁等における社会ニーズや政策課題を元に設定された「研究開発テーマ」に対応する分野
研究開発期間	8ヶ月程度 (2024年度末まで)
支援金額 (直接経費)	上限750万円 ※正当な理由がある場合、上限1,000万円 ※別途、間接経費を措置します

2024年度公募は終了しました。

2025年度公募については、内容が変更される場合があります。
2025年度公募の詳細は決定次第、ホームページ等でご案内します。

【お問い合わせ先】

国立研究開発法人科学技術振興機構
SBIRフェーズ1支援担当

Tel : 03-5214-7054

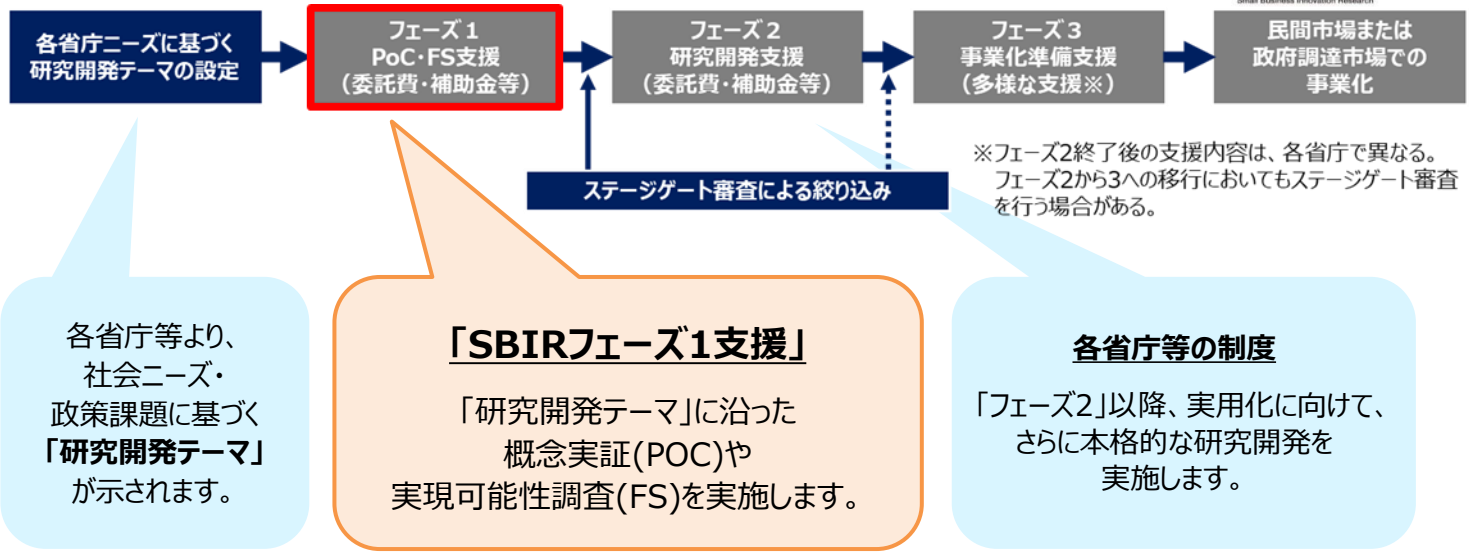
E-mail : sbir-one@jst.go.jp

URL : <https://www.jst.go.jp/start/>



SBIRフェーズ1支援の枠組み

2021年度にイノベーション創出に寄与する制度として抜本強化された
SBIR制度（中小企業技術革新制度）のもとで実施します。



応募の要件（一部）

- 研究代表者が申請の核となる技術シーズの発明者である、もしくは発明に関わった者であること。
- 以下a)、b) のいずれかを目指していること。
 - a) 事業終了後の起業（事業実施中も可とする）による技術シーズの事業化
 - b) 大学等発スタートアップを含む既存中小企業（設立15年以内）への技術移転による技術シーズの事業化
（※一部、b) が対象外のテーマあり。技術移転先企業の要件は公募要領をご確認ください。）
- 本支援を通じたスタートアップの設立や技術移転に関してその技術シーズの発明者、技術シーズが所属する機関等（特許出願人等）の同意が得られていること。
- 知財の形成や標準化、データの構造化等を踏まえた研究開発および事業化に向けた活動を行い、令和5年度第4四半期に開催予定の成果発表会で活動成果を発表できること。

※応募要件等の詳細は公募要領をご確認ください。

研究開発テーマ（2024年度）

	タイトル	ニーズ元	社会実装方法
(1)	Beyond 5G (6G) に向けた研究開発	総務省	起業/技術移転
(2)	多様化する障害像を踏まえた汎用性のある自立支援機器の開発	厚生労働省	起業/技術移転
(3)	木質バイオマスを活用した新素材・原料の研究開発（エネルギー利用は除く）	農林水産省	起業
(4)	林業の安全性向上・労働負荷軽減・生産性向上に資する技術の研究開発	農林水産省	起業
(5)	波浪観測情報の取得手法の高度化・低コスト化	国土交通省	起業/技術移転
(6)	海洋・港湾・湖沼等における効率的な測深作業の実現	国土交通省 内閣府（福岡市）	起業/技術移転
(7)	自然環境のモニタリング技術や生態系解析技術の開発	環境省	起業/技術移転
(8)	災害時に生き埋めになった生存者を迅速に搜索するセンシング技術やロボティクス技術の開発	警察庁	起業/技術移転
(9)	災害時等に水中での行方不明者等を迅速に搜索する技術の開発	警察庁	起業/技術移転